

# スポ推よこすか

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 武 雅兄

平成 28 年 6 月 22 日 発行



## 27 年度年度末・28 年度新年度総会

平成 28 年 4 月 15 日（金）総会出席者の皆様、熱心な審議ありがとうございました。昨年に続き、報告や提案については、パワーポイントを用いて出席者に分かりやすく説明されたと思っています。

独自事業・イベント等の資料作成には、広報部撮影の写真を用いて視覚に訴えながら、分かりやすく説明されていたと思います。



参加者数は 27 年度年度末総会には、出席 82 名（委任状 177 名）、28 年度新年度総会には出席 85 名、（委任状 171 名）と沢山の方々に参加をいただき、協議会の一員としての意識が高まってきたものと思っています。

28 年度事業計画及び予算が承認されたことで、今後計画に沿って事業を進めていくこととなりますが、スポーツ推進委員全員が一度は事業に参加してみたいと言うような、雰囲気作りに努めていく事が重要だと感じました。

また、いただいたご意見に率直に向き合い、分かりやすく、納得がいく結果が出るように話し合っています。



27 年度に立ち上げたソフトバレーボール委員会がソフトバレーボールの普及や大会運営に取り組みます。また、ニュースポーツ研修会を地区別に行うことで、ニュースポーツの普及に努めると共に、スポーツ推進委員相互の親睦を図り、意見交換をすることにより、協議会運営に反映できるものと思っています。

平成 29 年度に横須賀市スポーツ推進委員（旧：体育指導委員）協議会結成 60 周年を迎えるに当たり、記念誌の発行や記念行事の開催に特命事業部が中心となり、資料作りや企画運営についての話し合いが進むこととなります。

武会長から、スポーツ推進委員の知名度を上げていくと言う発言があったように、今後もスポーツ推進委員の英知を結集し、皆でスポーツ推進委員協議会を作り上げ、市民の知名度が上がるようにしていきたいと思っています。



記事 副会長 鈴木 貞男（大楠）

写真 広報部 副部長 新堀 邦明（富士見）

## 学校体育授業サポート講習会

平成28年2月14日（日）午前9時から12時の間、横須賀市立諏訪小学校ランチルーム及び体育館において平成27年度学校体育授業サポート講習会が開催されました。

スポーツ推進委員の本講習会受講者の底辺拡大も目的であり、近年は各年度で実施されています。

今回は、横須賀市教育委員会学校教育部スポーツ課 鈴木指導主事が講師で、スポーツ推進委員14名が受講しました。



まず、ランチルームにおいてスポーツ基本法・学校体育授業のガイダンス等の座学を約1時間実施の後、体育館へ移動し、ソフトバレーボールの児童への指導方法について受講しました。



内容は、運動能力が千差万別の児童に対して、いきなり正規のコートを設定するのではなく、フラフープや壁を利用したり、ネットの高さを低くしてソフトバレーボールに親しませる方法でした。

講義の後のソフトバレーボールの実技では、思わず児童になったつもりで汗をかきました。

記事 眞田 光夫（武山）

写真 広報部 副部長 新堀 邦明（富士見）

## ニュースポーツ研修会

平成28年2月21日（日）野比小学校体育館と校庭を使用し「キンボールとグラウンド・ゴルフ」2種目のニュースポーツ研修会が31名の参加で開催されました。

参加者をAチームからFチームまでの6グループに分け体育館ではAからCの3チームが「キンボール」をスタート、校庭ではDからFの3チームが「グラウンド・ゴルフ」をスタートして講習会が始まりました。キンボールは、1986年にカナダで生まれたニュースポーツで長さ21m、幅21mのコート内を直径122cm、重さ1kgのナイロン製のソフトなボールをヒットしたり、そのボールをレシーブしたりする競技で、今では世界中で500万人がプレーを楽しんでいると紹介されました。



グラウンド・ゴルフは、使用するクラブ・ボールとホールポストが通常のパターゴルフと異なるだけでルール的には同様の競技でした。標準コースは8ホールのポストが有り、どのホールポストからでもスタートできるので、多くの人に参加できます。ありのままの広場に作られたホールポストを攻略する楽しみを初めて体験しました。



今回ニュースポーツを体験しましたが、2種目とも幅広い年齢層の方々が一緒に楽しめるスポーツだと思いました。

記事 広報部 久保 幸一（田戸）

写真 広報部 副部長 新堀 邦明（富士見）

## 新任研修会

平成 28 年 5 月 14 日（土）横須賀市スポーツ推進委員協議会 新任研修会が諏訪小学校において開催されました。

教育委員会事務局学校教育部スポーツ課 三橋課長よりスポーツ基本法からスポーツ推進委員規則、横須賀市スポーツ振興基本計画について、講義を受けました。スポーツ推進委員はスポーツの実技指導や助言のほかにスポーツ推進事業の実施に係る連絡調整も行うことを確認しました。



また、横須賀市スポーツ推進委員協議会の平成 28 年度 事業計画と協議会活動について武会長より講義がされ、今年度の研修計画を確認し、スポーツ推進委員の役割や心構え、課題などを学びました。



この研修を受講して、スポーツ推進委員は横須賀市の非常勤職員に位置付けられているため、地域の活性化に貢献していきたいと思いました。



記事 研修部 副会長 細川 哲男（走水）  
写真 広報部 副部長 新堀 邦明（富士見）

## 普通救命講習会

新任研修会の後、体育館に場所を移して、消防署員・消防団員の方々のご指導、ご協力のもとで開催され、新任研修会に参加したスポーツ推進委員と共に受講しました。



私は、職務上「心肺蘇生」「AED」「心室細動」等の言葉には慣れ親しんでおり、少しばかりの知識は持ち合わせていました。ところが、いざ自分で救命処置ができるかと問われたら「？」です。知っているとは行動できるは、全くの別物だと感じました。



今回、消防隊員の丁寧で理解しやすい説明、実技をうけ「なるほど！ そうだよな！」と何度も頷いた次第です。昨今、自然災害や事故のことが連日のように報道されています。いつ自分が救命を必要としている人に遭遇するか分かりません。目の前にいる心肺停止の傷病者に、今自分にできる「救命の連鎖」をつなげたいと思います。今回の経験で、勇気をもって大きな一歩が踏み出せそうです。この講習に関わった全ての方々に感謝します。

記事 三橋 勇（夏島）  
写真 広報部 副部長 新堀 邦明（富士見）

## ラジオ体操指導者講習会

平成28年5月21日(土)横須賀市サブアリーナにて、ラジオ体操指導者講習会を開催しました。対象はスポーツ推進委員の方で、参加者は32名。講師はNPO 法人ラジオ体操連盟認定「ラジオ体操指導士2級」の林と実技補助は富士見学区の新堀さんの二人で進めました。



実技に入る前に、参加者のラジオ体操に対する取り組み状況の確認と、「ラジオ体操とは」「ラジオ体操の効用」についての確認と話をしました。準備体操、全体を通して実施した後は、手順とポイント、間違いやすい悪い例などをひとつずつ解説、実技を繰り返して指導させていただきました。また途中で水分補給も行いました。講習会の最後には「指導に当たっての留意事項」「より効果的に行うため」についてお話をしました。参加された方に気づいたことを質問したところ①かかとの上げ下げのポイント②体のどの部位に効果があるか③意識しながら体操をすることで効果が増すなどを挙げていただきました。



最後に横須賀市保健所健康づくり課生涯現役推進担当の葛貫課長、田辺主任より横須賀市の取り組みとラジオ体操サポーターについて話をいただきました。今回の受講者のうち13名が事前にサポーター登録、残りの方のほとんどの方が今回登録されました。健康で明るい街づくりのためスポーツ推進委員が先頭に立ってラジオ体操を進めましょう。

記事 副会長 林 但(富士見)

写真 広報部 部長 鈴木 幸子(汐入)

広報部 副部長 新堀 邦明(富士見)

## ソフトバレーボール研修会

ラジオ体操指導者講習会の後、横須賀市スポーツ推進委員協議会では、ソフトバレーボールを普及させていくために、スポーツ推進委員の参加により研修会を開催いたしました。

審判員としての成長もとても大切なことですが、まずはそのスポーツに慣れ親しみ好きになることが一番ということで、今回の研修は参加者全員でコート作りからプレー、そして審判と、楽しみながら行うことを目的に行われました。全員が何でも出来るように工夫された計画だったようです。



研修が終わって2~3人の方に聞きました。①今日の目的どおり楽しくできた。②ルールを知らない人がいたので積極的に研修会などに参加してもらいたい。③実力差があったので、チームを上手く分ければそれぞれに向上できるのではないかと意見に、委員長から、審判研修会で改めて勉強して下さいとの回答がありました。

それぞれに色々感じながら、研修会は怪我もなく無事に終わりました。

翌日に武山学区ふれあいスポーツ大会にソフトバレー委員会数名で審判のお手伝いに行きましたが、私にとってはとても為になりました。そして参加チームは昨年の2倍だったそうです。

審判員の技術向上と、各地区の活動が活発に普及していくことを望みます。

記事・写真 広報部 部長 鈴木 幸子(汐入)

写真 広報部 副部長 新堀 邦明(富士見)

## 編集後記

毎年同じような記事になってしまいますが、ある意味、それが平和かも知れません。一方、三浦半島は、いつ震災などに襲われるかわかりません。皆さん「治にあって乱を忘れず」です、備えは十分に!!

広報部 臼井 喜八郎(森崎)

ホームページ

<http://sukataishi.jp>